

日 時 : 6月29日(土) 14:10~15:30  
会 場 : 3階 303・304  
配信方法 : Zoom ミーティング

#### 座 長

堀川 慎二郎 富山県立中央病院 集中治療科 部長

#### 演 者

河合 皓太 富山大学 上市・地域医療支援学講座 客員准教授／かみいち総合病院 内科  
滝川 陽希 南砺市上平診療所 所長心得

#### 概 要

患者さんにとって最善の医療を行うことは重要なことであるが、時に医療者が提案することと患者さんが望むことが食い違うことも日常診療では多い。また終末期においては患者さんの意思が明確ではないことも珍しくはなく、医療介入に悩むことも少なくない。臨床倫理・人生会議・DNARなどの用語を正しく理解することは患者さんにとっての最善を提供するために不可欠なことであり、グループワークも交えながら参加者全員で学んでいく。

座長：堀川慎二郎（富山県立中央病院 集中治療科 部長）

## 患者さんのための医療とは何か

河合 皓太<sup>1</sup>・滝川 陽希<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 富山大学 上市・地域医療支援学講座 客員准教授/かみいち総合病院 内科

<sup>2</sup> 南砺市上平診療所 所長心得

医療の現場では多くの選択を迫られることは多い。患者と医療者の間で考え方の違いがなければその選択はスムーズに行われるわけだが、考え方や価値観に違いがある場合には選択がスムーズに行われないばかりか、どちらの選択が正解なのかも不明瞭となる。さらに医師と看護師などの医療者間あるいは患者と家族の間でも考え方・価値観が違うこともあり、選択肢が多岐に渡ることも少なくない。

医療倫理の4原則が自律尊重、善行、無危害、公平・正義であるのは周知の事実であり、医師は概ね善行・無危害の原則に則り治療方針を提案するわけだが、それに対して患者が全てを受け入れてくれるわけではない。要するに医療倫理の4原則が満たせない状況（自律尊重原則と善行・無危害原則の対立構造）になるわけである。一般的に「倫理的問題」と言われると、人工呼吸器離脱や臓器移植、宗教的な考え方との対立など特殊な状況を想像する方が多いが、実は日々の診療の中に「倫理的問題」は数多く存在しているのである。

そんな時、目の前の患者にとっての最善な選択肢は何か、ということ了我々は常に考える必要があり、これが即ち「臨床倫理」の考え方である。臨床倫理に関しては令和4年度の医学教育モデル・コア・カリキュラムにも含まれるようになった。つまり我々は後輩たちに正しい知識を持って指導する必要があるわけだが、残念ながら知識がなかったり誤った知識しか持っていなかったりする医療者が多いのが事実である。特に終末期に関わる用語である「DNAR」や「ACP」を正しく理解し実践している人は驚くほど少ない。

本セッションでは臨床倫理に関しての正しい知識を身につけていただきながら、臨床倫理的課題のある事例について参加者の皆さんに考えていただく場にしようと考えている。当日は Mentimeter を用いたリアルタイムアンケートやグループディスカッションなどを行う予定であるので、現地参加の方も Web 参加の方も、セッションを最大限に楽しむためスマートフォンやタブレットを持参の上で参加していただきたい。（なくても楽しむことは可能です。）

### 【略歴】

#### 河合 皓太

2012年3月 自治医科大学卒業  
 2012年4月 富山県立中央病院 初期臨床研修医  
 2014年4月 かみいち総合病院 内科医員  
 2015年4月 南砺市上平診療所 所長心得  
 2016年4月 市立砺波総合病院 集中治療・災害医療部  
 2017年4月 富山県立中央病院 救命救急センター  
 2018年4月 南砺市利賀診療所 所長  
 2019年4月 あさひ総合病院 内科医員  
 2020年4月 かみいち総合病院 内科医長  
 2021年4月 富山大学 上市・地域医療支援学講座 客員准教授  
 （現職）

### 【略歴】

#### 滝川 陽希

2021年 自治医科大学卒業  
 2023年 富山県立中央病院 初期研修修了  
 2023年 金沢医科大学氷見市民病院 総合診療科  
 2024年 南砺市上平診療所 所長心得